

平成21年度 第3回花見川区地域福祉計画推進協議会議事要旨

日時 平成21年11月6日（金） 午後2時00分～午後3時30分

場所 花見川区役所2階講堂

出席委員数 21名

欠席委員数 8名

事務局 7名

【1】次第

- 1 開会
- 2 委員長挨拶
- 3 議題（1）区地域福祉計画の推進状況について
（2）区地域福祉計画の見直しについて
（3）その他
- 4 閉会

【2】議事要旨

委員定数29名のうち、21名出席、8名欠席を確認し開会した。

事務局司会の下、配付資料の確認を行い、議題に入る前に委員長から開会の挨拶があった。

議題（1）

区地域福祉計画の推進状況について

社会福祉協議会および保健福祉総務課から区地域福祉計画の推進状況について資料に沿って説明があった。

<質疑応答>

委員 : 「27. コミュニティバスの導入・移送サービスの充実」について、各病院が運行している送迎バスを病院間での移動や買い物にも利用できるようにシステムを作れないか。

事務局 : 各病院が独自に運行している送迎バスを行政が調整することは難しい。本市では福祉有償サービス事業が移送サービスを行っている。移送サービスについては、NPOなど20数団体の事業者が運営しており、各地域への拡充が期待される。

委員 : 当地区では、「ご近所のたすけあいネットワーク」づくりを進めており、住民アンケートの結果、一番多かったのが「車での送迎」である。今後、実施方法を検討していくが、実施する上で法律上の問題はあるのか。

- 委員 : 以前、訪問介護事業で移送サービスもしていたが、採算に合わないため止めてしまった。ニーズは高いが、背負うコストやリスクも高い。タクシー業界からの反発がある。
- 委員長 : コストやリスクが高く、ボランティアでやるのは難しいのではないか。
- 委員 : 八千代市では社会福祉協議会が実施しているので、千葉市でも社会福祉協議会や地区部会として実施できないか。
- 事務局 : 社会福祉協議会で実施するとすれば、車両代や人件費が掛かる。
- 副委員長 : 八千代市の実施状況を調べてはどうか。
- 委員 : この場で議論しても解決できる問題ではないので、次回までの課題にしてはどうか。
- 委員長 : 八千代市の実施状況などを調査し、検討することとする。

議題（２）

区地域福祉計画の見直しについて

福祉事務所から見直し案について資料に沿って説明があった。

<質疑応答>

- 委員長 : 現計画を作成した段階では、実践能力というものを考慮せず、考えられる生活課題を列挙した。次期計画では、集約化・優先化という考えを取り入れメリハリを付けるとともに、人材育成も考えていかなければならない。
- 委員 : 資料４の「現計画の取組項目」の欄の墨塗り・薄墨の項目は削除するということか。
- 事務局 : 未実施の項目や自助の側面が強い項目を塗り分けただけである。削除するかどうかは、今後見直し案を作成していく中でご議論いただきたい。
- 委員 : 「３６．企業ボランティアの活用」が墨塗りされているが、これは実施されていないということではなく、情報を把握していないだけだと思う。企業に対しても情報提供依頼をしてはどうか。
- 事務局 : この推進状況の把握は、委員の皆様の知り得る範囲で情報を整理しているので、企業への依頼は考えていない。もし把握している情報があればお寄せいただきたい。
- 委員 : この計画はどの程度実施されれば達成されたとみなすのか。
また、核家族化・少子化・価値の多様化・個人主義化などの現在の社会を認めた上でこの計画を進めていくのか、あるいはこのような社会のあり方の修正をも求めていくものなのか。
- 委員長 : 大きな社会の流れは、我々だけでどうにかなる問題ではない。社会の流

れに合わせて努力するしかない。

推進状況の採点方法については、どこか1団体がやっているだけでは、実施されているとは言えない。地区部会で言えば半分以上が実施しなければ、実施されているという評価はできないのではないかな。

事務局 : 推進状況の評価を数値化することは難しい。1団体でも実践していれば、その項目は実施されているという評価になるが、その項目が達成されたとは言えない。そこから波及させていく必要がある。

議題（3）

その他

事務局から区民まつりでの広報について報告があった。

最後に委員長から閉会挨拶をし、午後3時30分花見川区地域福祉計画推進協議会は閉会した。